
ホラ、君も差別してるでしょ？

国後旺

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ホラ、君も差別してるとでしょう？

【NZマーク】

NZ552D

【作者名】

国後旺

【あらすじ】

「差別は黙ります……その中に、例外を作つてないかな?」(ジャンル:エッセイ)

(前書き)

ウソは書いてない。

「人を殺しては駄目です」と、人は言つ。

それを聞けば、当たり前じやん？ で、終わるだろ？。
でもさ、

「虫を殺しては駄目です」と、誰かが言つたとするよ。

それを聞いても、当たり前じやん？ では終わらないよ。 人は虫
を殺すからね。

虫を殺しても罪には問われない。それはなぜか分かる？

「虫[は]殺していい」 これが世の中だからだよ。 爆笑だね。
だってさ、対象が虫でも人でも、殺すという行為に変わりはない
んだよ？ 命を潰すんだから。 それなのに虫を殺したら駄目なんて
法律はないんだよ？ すげー、すげー。人類がいかに自己中なのか
が分かるよ。

生きる権利は平等にあるといつけれど、そんなのウソ、ウソ。

その中に入つてるのは人類だけだよ。それも一握りの。 人以外の
動物にはそんな権利の存在すら無いから。

例え話 「あなたは犬を飼っています」

この時点すでにおかしいよね。 だつてそうじやない？ なんでその犬は飼われなきゃいけないの？ おかしくない？ 犬が「俺を飼え」とか言つたなら飼つても… まあ、良いよ？ でもさ、そんなこと言う奴は、犬に限らずいないと思うよ？ だつて、わざわざ自分の生涯を自ら縛る奴なんていないじゃん。 いたとしたらそれは思考回路が変態サンなんだ。

でもね、人はそんなことすら分かつてないんだよ。自分の都合の良いように解釈し、自分以外の生物の存在を、自分の良いように縛りつけてるんだ。

「この子（犬）は私に甘えている」 そんな根拠は何処にあるんだるいね？

そう、そんなものは何処にもない。 ただの空想ショートコント。

まあ、なにが言いたかったって言つと、

人は皆、自分以外を知らず知らずに見下してゐて」とよ。

でもさ、それで良いんじゃない？

差別してるから、他の命を食べられるんだから。

差別をしない奴なんて何も食べられないよ？ 今着てる服だつてそう。動物の毛とかを良いようにもてあそんで作られてるんだし。

毛とかを使われた奴の意見なんて無視よ？

だから本当に「差別は駄目です」と言つてる奴は服なんか着ないし、何も食べないんだよ。でも、そんなことできないでしょ？

だから今まで通り、差別しながら生きるしかないんだよ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9552d/>

ホラ、君も差別してるでしょ？

2010年10月15日19時23分発行